

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「超スマート社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

多種・多様なコンポーネントを連携・協調させ、新たなサービスの創生を可能とするサービスプラットフォームの構築

3. 研究開発課題名

超スマート都市 エリアマネジメントプラットフォーム

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

佐土原 聡(横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 教授)

5. 評価結果

都市を対象に、人間中心の様々なサービスを協働・共創で創出するプラットフォームの構築を目指し、「みなとみらい 21」という具体的な対象を設定するとともに、企業連携でのコンソーシアムを構築するなど、POC 達成後を見据えた計画および体制構築がなされている。

一方で、プラットフォームに求められる要件定義や、解決すべき技術的課題の明確化が必要である。例えば、人間行動予測を行う上で求められるマルチエージェントシミュレーションの高精度化のための解決策の提示や、人流制御という観点からユースケースを用いたアプローチの検討などが求められる。

以上の結果、本研究開発課題は探索研究で終了となったが、研究開発は着実に進捗しており、今後の進展についても期待が持たれる。

以上